

# 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をただすことができます。

**問** どのように地場産業を育てるか？  
村はどのようにして産業の振興を図り、現状を打開して活力ある村づくりを



山本均 議員

**答** 進めていくのか？  
産業団体の経営基盤の強化を図ることが極めて重要であり、特に資金や人材の不足、経営を安定させるための技術習得、情報の収集などが共通の課題となっている。  
こうした課題に対して各産業団体に従事する方々の意見も取り入れながら村、東京都が連携して支援していきたい。

## 表 紙 は 語 る

春の日差しに包まれた4月16日、『Nijima ちよっくらいいことプロジェクト』主催の第七回チャリティーバザーが商工会にて開催された。普段の生活や引越しなどで不要になったものを島内で有効活用してもらいなが

ら、売上を震災復興に関わるNPOや島内NPOにも寄付している。大人も子供も一緒になって、子供売店、ポップコーンや綿あめ売店、式根島からのパン販売、フラダンスなどで盛り上げていた。



新島港B堤漁港の風景。

### 議会にいきかう言葉

異議なし！  
「……したい  
と思いますが、ご異  
議ありませんか？」  
議長の呼び掛けに  
議場ではたいいてい冒  
頭のように応じる。  
主に慣例となってい  
る議事の進行方法な  
どが対象となる。  
なぜこういうこと  
をするのか？デュー  
プロセス（適正手  
続）、これに尽き  
る。議案の採決に正

当性が付与されるの  
は、キチンと定めら  
れた手順をふんでい  
るからである。  
だから七面倒臭い  
と思っても順序どお  
りに議事を進めなけ  
ればならない。と同  
時にある程度、想定  
でき重要でない個所  
は短縮してもよいの  
ではないか、そのよ  
うな要請に基づく。  
ということでは異議  
なし？

総合戦略は何処に？

**問** 新年度には総合戦略に基づく事業にどういったものがあるのか？出生率に

関し、平成26年の1・44から平成32年までに1・6にするとしてい

**答** 新島村基本計画と合わせ様々な施策が総合戦略に基づく事業として実施される

が、全ての事業が何らかの形でこの戦略に関わっている。  
事業検証は総合戦略

検証委員会が毎年行ない、それに基づいて修

正・改善を加え、実施の可否を判断する。

特養ホームの運営の正常化は？

**問** 現在の特養ホームの就業状態はどう

なっているのか？

**答** 3月1日現在、総職員数77名、常勤

換算では65名（一年前は69名）、内介護職は30名で若干名の介護職の確保が必要。

**問** デイサービスの業務の再開は？

**答** 4月に何名か入ると聞いている。8月過ぎに職員住宅（6世帯分）が出来た場合、それ以降従事者をそろえ教育するので少し遅れるか、と思つ。

住民公聴会の開催は？

**問** 村長は住民公聴会を開く意思がある

のか？

**答** 各町会のみなさんに集まってもらつて私が行って意見を聞く、という町会単位で

4月になると各自治会の役員が変わつて新しい態勢になるので、それ以降に時期を選んでやりたい。

やってきました。



特養ホーム、居室前の通路に出て午後の歓談。

青沼 喜六 議員



公共施設に於ける警備体制の取扱いについて

**問** 診療所での宿直の取扱いについて質問する。女子看護師の宿直は身の安全を守ることが第一に考えた警備の改善策に取り組むべきである。いかがか？

**答** 本村の診療所は夜間、看護師1名が

当直している。不審者の侵入には緊急時以外、入口は施錠している。

緊急時や急患の際は医師が来るので看護師だけになることはない。看護



本村診療所内のナースステーション

師が不安を感じる場合、事務長等への連絡体制を組んでいて、診療所の2階には職員住宅もある。

式根島診療所はオンコール体制を取っている。職員の住宅も敷地内にあり、対応できている。今のところ警備員の配置は考えていないが、今後、施設の建替えの際、検討していきたい。

師が不安を感じる場合、事務長等への連絡体制を組んでいて、診療所の2階には職員住宅もある。

前田 邦弘 議員



平成29年度村長の施政方針について

**問** 新年度は光ファイバーケーブルの敷設が完了し、平成30年度から高度情報通信網が利用可能となる。IT関連産業の誘致等を積極的に進めるなど利用促進を図るべきと考えるが、村長の所見を伺う。

**答** 昨年4月に発足した「新島村超高速ブロードバンド推進協議会」とともに停滞している産業の起爆剤になるよう

超高速ブロードバンドの利用促進を図ってきたい。

超高速ブロードバンドの利用促進を図ってきたい。

**問** 2020年に東京でオリンピックが開催される。産業の活性化を図る絶好の機会であり、新しい産業の創出に努力すべきと考えるが、村長の所見を伺う。

**答** 超高速ブロードバンドの利用は島内産業の活性化を図るうえでまたとない機会であり、委員会・事業者・専門家などの意見を伺いながら進めていきたい。

離島振興法と有人国境離島地域に係る特別措置法について

**問** 有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法（以下「この法」という）が平成29年

有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法（以下「この法」という）が平成29年



徳島県・神山町のIT企業のサテライトオフィス (平成26年の議員視察)

度から施行され、島の活性化に欠かせない予算が数多く措置されている。東京都では三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島と小笠原諸島がこの法の適用を受ける。

伊豆七島は国の離島振興法に基づいて東京都と町村で離島振興計画を作成し、離島の活性化を図ってきたが、今後新島

村を含む北部4島の離島振興計画にこの法はどのように影響してくるかと考えるか？

**答** 先日の都知事との意見交換の場でも特定有人離島地域と離島振興法のみ地域との格差が生じないよう措置を講じてほしいとお願いしてきた。

前田卓秀 議員



サーフィンオリンピック招致

**問** オリンピック・サーフィン招致について総括を。

**答** 平成28年6月に招致委員会を立ち上げたが、他地域と比べ遅れたこと、また取り組み方にも反省するべき点があったと思っている。結果的に見れば千葉ありきの出来レースであった感じがする。

今後これまでの活動を次に活かしていくことが大切である。『新島』イコール『サーフィンの島』のアピールができ、観光PRの柱にサーフィンを前面に出し、観光振興を図っていくことが大切である。

木村諭史 議員



婚活事業の委員会体制づくりの提案

**問** 毎年確実に婚姻・出産と成果がでて

いる婚活事業（島婚）は、商工会に委託した3年間の区切りも迎えた。加えて小池都知事からは島外男女向けの『縁結び観光プロジェクト』への協力要望があり、この受け皿整備も必要である。そこで従来の島婚事業スタッフ数名と役場から課を越えた人員による委員会発足を提案したい。報告書と課題共有、他事例



## 島内外の婚活のパターン

		男 性	
		島 外	島 内
女 性	島 外	縁結び観光プロジェクト	従来の島婚
	島 内	〔 婿募集？ 〕	〔 島内の出会いパーティー 〕

**答** 今まで実施主体メ  
ンバーとどのよう  
な組織にしていくか協  
議をした上で、予算の組  
み替えを含め、どのよう  
な形態で実施していった  
らよいか検討していきたい。  
5月の連休明けから  
夏前までに協議を行うよ  
うにしたい。

新島村消防団の改善方  
針について

**問** 人口減少に伴い、  
地域消防の担い手  
減少が懸念されている。

今回の夜警手当等の増額  
だけでなく、消防団の存  
在意義と消防活動の本質  
を保ちながら、業務内容  
の負担感減少と誇りをも  
てる活動の両立が必要。  
例えば、実際の村内の火  
災事例共有や現状に応じ  
た夜警方針検証なども不  
足している。分団長に過  
度の負担がかからない範  
囲で、消防の現場の声を  
いかに汲み上げて改善し  
ていくか、姿勢を問う。

**答** 出初式後でも全分  
団を回って意見を  
聞いたところ、タテ社会  
の連携・吸い上げる機能  
の改善が必要と感じた。  
今後は消防団と協議して  
従来の活動について見直  
しを図るとともに、団員



本年1月6日の新島消防団の出初め式の雄姿。

に内容や意義についても  
しっかり伝達していくよ  
うにしたい。

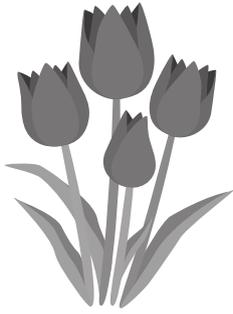
地方創生の情報公開と  
実態体制の提案

**問** 地方創生はいくつ  
かの事業を寄り集  
めた性質であるが、成果  
を取りまとめた情報発信  
を提案する。多岐に渡る  
事業を個別に議論・対

処せず、官民挙げて総合的に捉える地方創生戦略チームが必要と思うが、いかがか？



情報提供については、施策を総合戦略に当てはめた形で住民の皆さまにお示しい。担当課と協議の上、広報への掲載などを検討したい。村には産業振興会議をはじめ、行政や民間おりまぜた会議体がある。様々な分野別の会議で検討されたことを、必要に応じて他の分野にも情報提供・共有できる仕組みが必要。その上で地方創生戦略チームが必要と判断されれば検討したい。



### 議員の2月 月間リレー日記

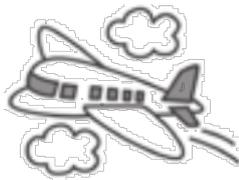
#### ●木村諭史

1日(水)

議会事務局に『漁業の理論と実際』(書名)を取りに行く。よく温泉でお会いする方の献本。

2日(木)

多世代交流事業に参加。飛行機最終便で上京する。



3日(金)

秋葉原で廃小学校をアート及び交流拠点に改修した『アーツ千代田3333』を見学。カフェ、イベント展示スペース、ギャラリ、研究室にシェアオフィス

である。

4日(土)

千葉大学にて社会向け『都市環境情報演習』最終講義を5時間。ロボットを作れるレゴブロックと簡単にプログラムできるソフトが組み合わさったマインドストームEV3のキットを使用する。

5日(日)

飛行機で帰島直前、神戸津島に赴任した七信の支店長と話す。昼過ぎに出社し、翌日からの来客の試験の準備。

6日(月)

新潟より3日間の日程で3名の来客。会社の研究施設で立ち会いのもと委託試験を行う。

7日(火)

前日に同じ。

#### ●前田卓秀

8日(水)~14日(火)

平均的な日常を記す。朝8時頃に羽伏浦に行き、SNSを使い波情報発信。これはほぼ毎日、実践。

午後から美容院を開店し、夜10時まで営業。この中で来客から村に対する意見や要望を聞き、また村内で声のあった住民からも同様の対応。これらを村に伝え、善後策を求め、その結果を当事者にフィードバックする。

こういったことを日々繰り返している。

#### ●山本均

15日(水)

パソコンを開いて政治資金収支報告書の作成の。午後3時から社協のボランティア。

16日(木)

代船の2便で式根島

へ。同輩の葬儀に出席。

17日(金)

住民からゴミ集積場の増設の依頼があり、実態把握のための写真撮影。10力所ほど回るが、足りている模様。

18日(土)

活動紙のパソコン打ち。中々はかどらない。

19日(日)

読書「無私の日本人」と「それでも、日本人は「戦争」を選んだ」。

20日(月)

議事の録音を起こし活動紙のパソコン打ち。

21日(火)

午前中は庭の草取りや鉢の手入れなどのルーティンワーク。午後は昨日に続きパソコン打ち。

